

21世紀に向けた企業姿勢

西暦二〇〇〇年となる本年、トッパンは創立百周年を迎えた。この大きな節目を「第二の創業」と位置づけ、二一世紀に向けた企業姿勢を表すものとして、「企業理念」、「経営信条」、「行動指針」の再構築を行なった。

また、激変する事業環境の中で企業は絶えず変革を迫られているが、そのような環境下で当社が目指す事業の方向性を明確に表すものとして、「TOPPAN VISION 21」を提示し、具現化に向けて取組みを始めている。

これらは、理念と事業領域の双方において、二一世紀に当社が向かうべき姿を明示するものとなっている。

◆創立百周年を機に「行動指針」を再構築

当社では、九六年十二月の経団連「企業行動憲章」の発表を受けて、すでに九七年八月に「法務行動指針」を策定し、社内における遵法意識の浸透に努めてきた。今回の再構築にあたり、事業活動は遵法精神と企業倫理に則ったものであることが肝心であるという認識から、「行動指針」には実務に近い行動ガイドラインを定めている。この「行動指針」は、大きく二つの章からなり、全部で四十四項目ある。

第一章は、最も基本的な遵守項目である。これは次の六項目を掲げている。

- 一、基本的人権を尊重する
- 二、法と倫理を遵守する

- 三、公序良俗に反しない
- 四、国際社会のルールを守る
- 五、社会に貢献する
- 六、環境と安全に配慮する

また第二章は、さらに実際的な場面において社員が守るべき遵守項目を表しており、「日常業務」とのかかわり、「お客さま」とのかかわり、「会社」とのかかわり、「社会その他」とのかかわりに分けて、それぞれ具体的な指針を定めている。

これらの「行動指針」は、国内外、子会社も含めた役員・社員のすべてを対象とするものであり、「企業理念」、「経営信条」とともに、小冊子にまとめられ、全社員の手元に置かれている。

◆トッパンの「夢」の実現に向けて

二一世紀に向けて印刷の持つ再現性、創造性、精緻さを、ソフト、サービス、ハードそれぞれの面で進化させ、提供していくことが、情報コミュニケーション産業であるトッパンの「夢」である。

しかし、この「夢」の実現に向けては、製品やサービスの提供にとどまらず、社員一人ひとりが「行動指針」を実践することを通してお客さまや社会の信頼を維持し、深めることが不可欠である、との認識を社内徹底させていきたい。

(凸版印刷 広報本部)